

盛岡地区安全伐倒競技会の開催について

1 はじめに

盛岡広域振興局林務部では、令和4年度から若手林業従事者の作業技術の向上、安全作業に対する意識醸成を図るとともに、参加者同士の交流促進及び新規就労者確保を目的に安全伐倒競技会を開催しており、今年度の取組を紹介します。

2 とにかく安全第一

競技会は「高得点＝安全伐倒作業」となるよう配点された、簡易伐倒の精度得点と危険行動による減点の合計値で順位を競う内容で、管内の6事業体14名が出場し11月28日に開催しました。講師には、岩手県伐木技術指導員小原孝氏と武田一吉氏の2名を迎え、事前のルール説明会及び競技会前日の2日間で、ガンマークの使用方法及び競技会ルールと安全伐倒作業の関係性、チェーンソーの目立て及びメンテナンスについての安全講習と実技指導を行いました。競技会前日はチェーンソーや安全保護具のチェック等、近年多発する死亡災害を防止するため、安全作業を強く意識した内容としております。



3 高校生の部

昨年度新たに設けた高校生の部も併催され、盛岡農業高校2年生17名が丸太の輪切り競技に挑戦しました。

開催にあたっては、当部職員が学校へ出向きルールの説明や実技指導を行ったほか、授業内でも練習に励み、本番では誰一人として不安全行動（ペナルティ）を行うことなく、安全に競技を終えることができました。

4 終わりに

出場者からは、「ペナルティは事故やケガに直結するので、競技会での学びを現場に活かしたい」とのお話があったこと、また、盛岡農業高校生へのアンケートでは、「林業関係に就職したい」「林業の楽しさを知り興味が深まった」との回答があり、安全作業の意識醸成及び新規就労者確保が期待できる取組となりました。今後も高校生の部と併せて取組を継続し、林業従事者の育成と、新規就労者対策に取り組んでいきます。

